

(別紙4(2))

事業所名 グループホームジョイア矢作

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変時や事故発生時の備えての、応急手当や初期対応の実践力が身に付いていない。	応急手当や初期対応の実践力を身に付ける。	岡崎市消防本部主催の救命講習会や防災講習会へ参加する機会を設け、応急手当や初期対応の実践力を身に付ける。	12ヶ月
2	35	災害対策で、地域との協力体制が出来ていない。	地域との協力体制を確立する。	地域の防災訓練などに参加したり、消防団と連携が取れるようする。	12ヶ月
3	5	市町村担当者へ、事業所の実情やケアサービスの取り組みを、積極的に伝えて、協力関係を築くことが出来ない。	市町村担当者へ、積極的にアプローチする。	地域交流スペースの利用を地域住民に促し、その状況を市町村担当者へ発信していく。	12ヶ月
4	29	地域資源と協働して、本人が心身の力を発揮して安全で豊かな暮らしを楽しめるような支援が出来ていない。	地域資源と協働する。	地域資源をどのように活用するか検討し、具体策を立てて実践する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。